

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	3年生	期 別	通年	科目の実務経歴	有
授業科目名	東洋医学臨床論Ⅱ			担当教員	餌取 光輝		
授業の方法	講義、演習			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	臨床で遭遇すると思われる主症候に対して、東洋医学的な考え方に基づいて適切な診察・施術ができるための知識を学ぶ。						
授業の到達目標	Ⅱ. 医学的知識 4. 東洋医学の自然哲学・健康観・病理観 5. 東洋療法における主要疾患の症候・治療の概要(現代医学的・東洋医学的)						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	ガイダンス		1	第2章各論 第2節 臓腑と関連する症候 肝系統Ⅰ. 眼精疲労		
	2	人体の見方 東洋医学的な考え方		2	第2章各論 第2節 臓腑と関連する症候 肝系統Ⅱ. 気分障害		
	3	陰陽学説 五行学説 六淫		3	第2章各論 第2節 臓腑と関連する症候 心系統Ⅲ. 睡眠障害		
	4	東洋医学的治療 肝・心		4	第2章各論 第2節 臓腑と関連する症候 脾系統Ⅴ. 便秘		
	5	東洋医学的治療 脾・肺		5	第2章各論 第2節 臓腑と関連する症候 脾系統Ⅵ. 下痢		
	6	東洋医学的治療 腎 五臓六腑の復習		6	第2章各論 第2節 臓腑と関連する症候 肺系統Ⅰ. 咳嗽と喘		
	7	総合演習		7	総合演習		
	8	第2章各論 第1節 疼痛Ⅰ. 概説 東洋医学に基づく疼痛Ⅱ. 頭痛		8	第2章各論 第2節 臓腑と関連する症候 腎系統Ⅰ. 脱毛症		
	9	第2章各論 第1節 疼痛Ⅲ. 顔面痛		9	第2章各論 第2節 臓腑と関連する症候 腎系統Ⅰ. ED(勃起)		
	10	第2章各論 第1節 疼痛Ⅳ. 関節痛		10	第2章各論 第3節 全身の症候		
	11	第2章各論 第1節 疼痛Ⅳ. 関節痛(膝)		11	第2章各論 第3節 全身の症候②		
	12	第2章各論 第1節 疼痛ⅩⅢ. 上腹部痛		12	第2章各論 第7節 老年特有の症候		
	13	第2章各論 第1節 疼痛ⅩⅢ. 下腹部痛		13	総合演習		
14	第2章各論 第2節 臓腑と関連する症候 脾系統Ⅶ. 歯痛		14	第2章各論 第5節 女性特有の症候			
15	前期総括授業		15	第2章各論 第6節 小児特有の症候			
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	前期:中間試験(50%)、期末試験(50%) 後期:中間試験(50%)、期末試験(50%) ※通年科目の為、前期(50%)後期(50%)で評価を行う。			実務経歴	臨床経験10年 鍼灸師、柔道整復師、JSTAスポーツアロマトレーナー		
履修上の注意	東洋医学概論の教科書をしっかりと読み込んでください。 また東洋医学臨床論の教科書で復習をすること。			授業時間外の学習	臓腑の生理作用、病理を覚え弁証論治をまとめること		
使用教材	配布資料 東洋医学臨床論教科書			連絡先	職員室に直接お願い致します。		